

景観配慮協議申出書

令和5年 2月 10日

(宛先) 鎌倉市長



届出者 住所 [REDACTED]
 氏名 [REDACTED] (M. A.)
 電話 [REDACTED]
 代理人 住所 東京都港区南青山 3-10-40
 氏名 株式会社 MAKIKOMU 一級建築士事務所
 田中敏夫
 電話 03 (6812) 9855

〔 法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。 〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	谷戸の住宅地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	東京都港区南青山 3-10-40	
	氏 名	株式会社 MAKIKOMU 一級建築士事務所 田中敏夫	電話 03 (6812) 9855
行 為 の 場 所	地 名 地 番	鎌倉市西御門二丁目767-1	
	用 途 地 域	第1種低層住宅専用地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input checked="" type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	令和 5年 5月 1日	完了予定 令和 5年12月31日

(裏)

建築物の概要	用途	一戸建ての住宅				
	最高の高さ	7.987m	階数	地上 2階	地下 0階	
	構造	木造				
	敷地面積	2349.51m ²				
	建築面積	909.67m ²	届出以外の部分	m ²	合計 909.67m ²	
	延べ面積	942.14m ²	届出以外の部分	m ²	合計 942.14m ²	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽		m	<input type="checkbox"/> その他	m
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²				
	仕上材	屋根	ガルバアリウム鋼板	色彩	屋根	5PB 2/1 (黒)
		外壁	サイディング貼		外壁	4.54PB5.8/1.08 (グレー)
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²				
	行為の目的	分割 (区画)	(最小区画面積	m ²)		
	行為の内容	切土 (m ³)	盛土 (m ³)	その他 ()		

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	緑豊富な閑静な住宅街
まち並みの連続性	北側丘陵地からの緑が連続している
周辺建物のデザイン	落ち着いた緑に囲まれた邸宅街を形成している
眺 望 景 観	北側丘陵からの緑の連続性を維持しながら、建物が見え隠れする景観
景 観 資 源	谷あいの住宅街の静けさ維持する町並み

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	○	緑に囲まれた配置形成している
形 態 意 匠	○	屋根形状を切り妻とし、建物周辺に緑地帯を設け、緑の中の建物として調和させてる
色 彩	◎	外壁の明度を6以下とし、落ち着いた貴重の色彩としている
建 築 設 備	○	室外機等の設備を通りから見えないよう工夫する
外 構 緑 化	◎	通り側に塀を設けず、緑地帯とし、低木、中高木を配置、建物が見え隠れする緑化計画とし、周辺との調和を維持している

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		